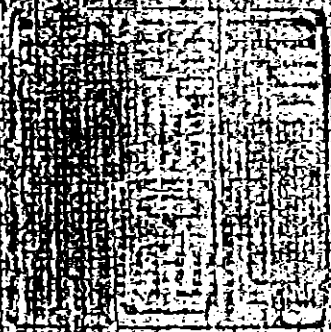


兵庫縣漁業慣行錄

淡水漁業之部

卷之一



兵庫縣漁業慣行録卷之一 淡水漁業之部

總說

漁制

舊幕時代ヨリ維新後ニ至リ漁期漁具或ハ漁場等特ニ制
 限ヲ設ケ或ハ漁稅ヲ施行セシト及ヒ漁權ノ區別等ハ概
 子鹹水漁業ニ同シ而シテ該漁權中明治八年太政官第二
 十三號公布ニヨリ新ニ一村地境ヲ限リ川面ヲ借用シ攝津
 國川邊ノ郡猪名或ハ此際更ニ一般ノ入會トナシ播磨國各
 川沿村ノ如シ或ハ此際更ニ一般ノ入會トナシ川沿村ノ
 如以テ今日迄慣行シ來レモノ亦少カラサルカ如シ又
 但馬丹波ノ諸川ハ概子入會漁業ナリ淡路ハ三原郡三原
 川ニ於テ唯一ノ湊村アルノミニシテ其他ニ漁村ナキヲ
 以テ自然漁權ヲ獨占セシ姿ナリ以上管廳ノ制ニ係ルモ
 掲載ス

不詳

漁場

攝津、播磨及丹波ノ諸川ハ概テ源ヲ北方ニ發シ南流シテ内海ニ注ク就中猪名川ハ攝津ニ發シ加古川ハ丹波ニ發シ揖保川及千種川ハ播磨ニ發シ共ニ著名ナリ水色渾テ清クシテ流勢概テ急ナリ産出魚類ノ重モナルモノハ鮎魚ニレテ其他ハ鰻、鯰、鯉、鮒、鱈、鱉及雜魚ノ類トス而シテ揖保川口内ニハ多少鮎及海苔ノ類ヲモ産出ス但竹田川ハ丹波ニ發シ北流シテ丹波後ニ入り福知山ニ至リ膏名瀬川ニ合シ北海ニ注ク又但馬ノ諸川ハ源ヲ南境ノ連山ヨリ發シ北流シテ海ニ入ル就中圓山川ハ源ヲ生野銀山ノ邊ニ發シ國中第一ノ大河トス流勢ハ概テ緩急相半シ水色ハ渾テ清冽ナルモ夏季降雨ノ少キ時ハ海潮遡上スル下凡四里以上ニ及フヲ以テ此間ハ大抵半濁流ナリ之

レニヨリ下流ニ在テハ黑鯛等ノ鹹水魚ヲモ漁獲スルヲ得産出ノ魚類中重ナルモノハ鮎魚ニシテ鯉魚之ニ並ク其他ハ鮎、鮒、鱈、鱉、雜魚及黑鯛、蛤、牡蠣、蜆等ノ類ニシテ其種類少カラス故ニ流程ハ南流諸川ニ及ハサルモ水産ノ繁殖ニ於テハ蓋シ本縣下第一等ニ位セリト云フハ

附以上捕採スル水産物ノ期節及諸川ノ概況ヲ示ス下左ノ如シ

漁業期節

種別	南流諸川	北流諸川	種別	南流諸川	北流諸川
イヌ	周年	周年	鮎	二月至四月	
鮒魚	自八月至十一月	自六月至八月	沙魚		自九月至十一月
鮎	周年	周年	蛤		自十月至翌年二月

小鮎	鯉	鮒	黑鯛	鰻	鮨	鯽	牡蠣	蟹	鮑
至自五月		至自翌年二月		至自十月	至自十一月	周年		至自十一月	
	至自十二月	周年	至自九月	周年	周年	周年	至自翌年二月		至自八月
泥龜	小鱸	規	キ	キ	雜魚	鮭	青海苔	鱈	鮎
					至自翌年二月		至自翌年二月		至自四月
至自十一月	周年	周年	至自九月	三二月		至自八月		至自八月	至自四月

兵庫

漁民

漁民營業ノ景況ハ概テ鹹水漁業ノ部ニ掲載スルモノト
 同レ然リト雖モ漁場素ト限リアルヲ以テ維新後舊法ノ
 弛廢ニ乘レ漁民頻リニ増加シ隨テ捕採一層酷シク為ニ
 漁額頗ル減シ年々衰退ノ景況ナリト云フ尚左表ヲ掲ケ
 テ一般ノ狀ヲ示スレ

漁業概表

種別	漁民 數人	曳網類 數量	刺網類 數量	建網類 數把	敷網類 數量
攝津國	二五五	五八			
丹波國	二一三	一五二			
播磨國	一八七六	九	一七	三一二	五
但馬國	四九一	七	一一	一九二	三五八
淡路國	四				
合計	二八三九	二二六	二八	五〇四	三六三

系

金		獲	漁 明治 位 田	漁 船 數 艘	漁 具 類 數 個	築 罟 類 數 個	笥 籠 類 數 個	挾 撥 類 數 枚	叉 釣 類 數 枚	繩 釣 類 數 桶	手 釣 類 數 本	掩 網 類 數 疊	抄 網 類 數 疊	旋 網 類 數 疊
全十九年	全十年													
一九四	四九四	四五	四五	四二					一		一九八	六四	一二一	四
二四一〇	一〇七八	四九七	四九七	二二		三	九五				二二	一二二	二一九	
四〇二三	五二八七	七〇〇二	七〇〇二	一六五	五	四	三五	八五	六二	七三	二七六一	一四八九	四三三	六三
三九一六	三三七一	四二一一	四二一一	一八七			三七	四五	七六	二二四	五〇	七八一	九三	三四九
全	全	全	未詳						三		三	三		
一〇五四三	一〇二二〇	一三二六一	一三二六一	四一六	五	七	一六七	一三〇	一四二	二九七	三〇三四	二四五九	八六六	四一六

系

兵 庫 縣

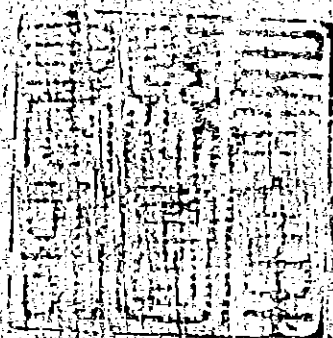
兵庫縣漁業慣行録卷之一終

兵庫縣

兵陣縣漁業慣行錄

淡水漁業之部

卷之二



兵庫縣漁業慣行録卷之二 淡水漁業之部

攝津國川邊郡

猪名川

第一章 漁制

第一款 捉類

第一項 保護ニ関スル事

西畦野村

漁法 維新前ハ劇劑其他毒物ヲ以テ漁獵スルヲ禁

セリ

第二項 漁税ニ関スル事

万善村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ本村共
議費ノ内ヨリ年々金十錢ヲ納メリ

北田原村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金十五錢ヲ納メリ

南田原村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ本村共議費ノ内ヨリ年々金十錢ヲ納メリ

紫合村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ本村共議費ノ内ヨリ年々金五錢ヲ納メリ

柏梨田村

維新前ハ鮎税ト唱ヘ銀ニ匁三分ヲ納メ維新後廢止トナリシカ明治八年ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ本村共議費ノ内ヨリ年々金十五錢ヲ納メリ

原村

明治八年ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ本村共議費ノ内ヨリ年々金五十錢ヲ納メリ

上野村

天保十三年鮎運上トシテ七ヶ年間銀ニ匁一分ヲ大津代官所へ納メ滿期ノ後尚其額ヲ納メ文久三年ヨリ七ヶ年間永四十文ヲ納メ以後滿期ニ至ルモ尚其額ヲ納メシカ明治八年ニ至リ更ニ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金七十錢ヲ納メリ

石道村

天保六年鮎運上トシテ銀ニ匁ヲ大津代官所へ納メシカ維新後明治八年ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金一圓五錢ヲ納メリ

猪淵村 差組村

明治八年ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ各毎年金八錢
宛ヲ納メリ

出生村

維新前ハ運上トシテ銀三匁ヲ納メシカ明治八年ニ至
リ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金七十五錢ヲ納メリ

西畦野村

明和年度ノ頃鮎運上トシテ年々銀六匁ヲ代官所ニ納
ム而メ納額ハ五ケ年ヲ一期トシ一期毎ニ一年或ハ五
分ヲ増ス文化年度ニ至リ其期ヲ三ケ年ト改メ銀六匁
九分ヲ納ム其後高槻藩ノ預リ所トナリ嘉永年間ニ至
リ八匁ニ増加ス廢藩後ハ鮎漁税ト改メ金十四錢三厘
ヲ納ム明治八年漁業者五名出願ノ上漁業鑑札ヲ受ケ

一名一ケ年ノ税金二十五錢宛ヲ納メシカ十年ニ至
リ廢業セシヲ以テ更ニ村方ヨリ川面ヲ借用シ其料ト
シテ年々金四圓ヲ納メ全十六年ニ至リ借用料ヲ漁業
税ト改メテ納税セリ

多田院村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金
五圓ヲ納メリ

西多田村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金
十錢ヲ納メリ

新田村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金
五十錢ヲ納メリ

平野村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金十銭ヲ納メリ

東多田村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金一圓ヲ納メリ

矢間村

明治八年ヨリ創メテ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金一圓五十銭ヲ納メリ

大物村

本村ハ從來本川流末ニ於テ蜆漁業ヲナセシモ別段運上等ノトナク只船税ヲ納メシノミ

第三項 其他ニ関スル事

西睦野村

本村漁場ハ多田神社ノ上流ニ在ルヲ以テ古來殺生禁制ナリ然ルニ中頃其制漸ク弛ミ遂ニ出願ノ上鮎運上ヲ納メテ漁業スルトナリタリ

多田院村 西多田村 新田村 平野村 東多田村 矢間村

本村漁場ハ多田神社ノ近傍ナルヲ以テ殺生禁制ノ提ナリシカ維新後其制廢止ナリタリ

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ関スル事

西畦野村

漁期 陰曆四月下旬鮎ノ大サ二寸許トナリタルモノ
 下流ヨリ遡リ来ル此モノ四寸許ニ生長スルヲ待テ
 口明ト唱ヘ捕獲スルノ慣行アリ但其期ハ年ノ摸樣
 ニヨリ遲速アリテ一定セスト雖氏概子陰曆五月中
 旬ヨリ九月迄トス

漁場 文政年間大津代官所支配タリシキ申合セヲナ
 シ他村ノ者ハ一切本村ノ漁場ハ立入ルヲ禁シ今
 尚現行ス

- 多田院村
- 西多田村
- 新田村
- 平野村
- 東多田村
- 矢間村
- 漁法 石灰其他毒物ヲ流ス等ノ漁業ヲ禁セリ

第二項 漁業ニ関スル事

第一節 漁 權

万善村

北木津村境ヨリ南北田原村境字屏風嶽ニ至ル十四丁ノ間ハ本村ノ専漁場トス又字屏風嶽ノ内一丁ノ間ハ北田原村ト入會漁場トス

北田原村

北万善村境字屏風嶽ヨリ南、南田原村境字川西ニ至ル十三丁ノ間ハ本村ノ専漁場トス

南田原村

北北田原村境字川西ヨリ南北田原村ト北野村トノ境字東山田ニ至ル十三丁ノ間ハ本村ノ専漁場トス

紫合村

北北由原村ト北野村トノ境字東山田ヨリ南南田原村柏梨田村トノ境字ノ湯ニ至ル十三丁ノ間ハ本村ノ専漁場トス又同處ヨリ南柏梨田村字志坊ニ至ル十四丁ノ間ハ柏梨田村ト入會漁場ナリ

柏梨田村

北南田原村境字ノ湯ヨリ南紫合村境字志坊ニ至ル十四丁ノ間ハ紫合村ト入會又同處ヨリ南上野村境字前ヶ谷ニ至ル八丁ノ間ハ本村ノ専漁場トス又同處ヨリ南原村境字水戸ヲサニ至ル三丁ノ間ハ上野村ト入會漁場ナリ

原 村

北柏梨田村境字水戸ヲサヨリ南本村字岩釜ニ至ル十一丁ノ間ハ上野村ト入會又外ニ一小支流アリ即チ本

村字瀧ヶ本ヨリ字岩釜ニ至ル十二丁ノ間ハ本村ノ専
漢場トス

上野村

北本村字北畑ヨリ南柏梨田村ト原村トノ境字宮ノ垣
内ニ至ル三丁ノ間ハ柏梨田村ト又宮ノ垣内ヨリ南原
村ト石道村トノ境字和田ニ至ル三丁十間ノ間ハ原村
ト又字和田ヨリ南石道村境字牛丸山ニ至ル五丁三十
間ノ間ハ石道村トノ入會漢場ナリ

石道村

東上野村境字和田ヨリ西字牛丸山ニ至ル五丁三十間
ノ間ハ上野村ト入會又東字牛丸山ヨリ南出合ニ至ル
七丁ノ間ハ本村専漢場又同處ヨリ出生村境字右畑ニ
至ル二丁ノ間ハ西野村出生及本村トノ入會漢場ナリ

猪淵村

本村漢場ハ本川ノ一小支流ニシテ西南字崩シヨリ南
字藏ノ元ニ至ル廿六丁ノ間ハ本村専漢場トス但本村
ハ漢場ヲ有スルノミニシテ漢業者ナシ

差組村

本村漢場ハ猪淵村ニ連続セシ一小支流ニシテ北字カ
ノ元ヨリ南天神ニ至ル十三丁三十間ノ間ハ本村ノ専
漢場トス但本村ハ漢場ヲ有スルノミニシテ漢業者ナ
シ

出生村

北石道村境ヨリ本村字出合ニ至ル二丁八間ハ石道村
ハ又同處ヨリ南本村字天狗ニ至ル三丁ノ間ハ西畦野
村トノ入會漢場ナリ

西畦野村

北石道村境字出合ヨリ南出生村境字天狗ニ至ル十丁
 十間ノ間ハ出生村ト入會漢場ナリ此漢場ハ村内望ノ
 者ハ入札ヲ以テ一ケ年間漢期ニ至ルヨリ十賣渡又金却
 取ノ費ニ充ツ故ニ該場ノ點漢業ハ該落札人ノ自由ニ
 シテ期限中ハ村内ノ者ト雖氏妾リニ入漢スルヲ許
 サス

多田院村

北虫生村境字天狗ヨリ南西多田村字金ヶ淵ニ至ル廿
 丁十三間ノ間ハ本村ノ專漢場トス又同處ヨリ東字前
 川ニ至ル二丁廿間ノ間ハ西多田村ト又同處ヨリ東新
 田村境字下川原ニ至ル一丁四十間ノ間ハ矢間村トノ
 入會漢場ナリ

西多田村

西ハ多田院村境字金ヶ淵ヨリ東字「ロウテン」ニ至ル二
 丁二間ノ間ハ多田院村トノ入會漢場ナリ

新田村

西多田院村境字下川原ヨリ東平野村境字下川原ニ至
 ル五丁二十間ノ間ハ矢間村トノ入會漢場ナリ

平野村

西新田村境字下川原ヨリ東南東多田村境字川田ニ至
 ル五十間ノ間ハ矢間村トノ入會漢場ナリ

東多田村

北平野村境字上川原ヨリ南大坂ハ豊島郡古江村境字
 「ツ」ミノ「夕キ」ニ至ル九丁五十間ノ間ハ矢間村トノ入
 會漢場ナリ

矢間村

西西多田村境字金瀬ヨリ東字下金瀬ニ至ル一丁四十
 間ノ間ハ多田院村ト又同處ヨリ東字「イ」ヲ「ア」ニ至ル
 五十二間ノ間ハ新田村ト又同處ヨリ東字上川原ニ至
 ル五十間ノ間ハ平野村ト又同處ヨリ南字「ツ」・「ミ」ノ夕
 キニ至ル九丁五十間ノ間ハ東多田村ト又同處ヨリ南
 瀧山村字大水田ニ至ル三丁十間ノ間ハ大坂ハ豊島郡
 古江村トノ入會漢場ナリ

大物村

本村ハ蛭貝採取ノミヲ以テ業トシ水川未流ニ於テ之
 ヲ營ミ来リ別ニ定マリタル漢場區域ナシ

第二節

仲間加入ノ仕来

第三節

他方ノ漁夫来漁ニ係ル手續

第四節

販賣ノ仕方

捕漁セシ魚類ハ直ニ需用者或ハ地方ノ商人ハ又大漁ノ
 時ハ大坂ハ豊島郡池田へ販賣スル「ア」アリテ一定セズ然
 ト氏皆即金ノ取引ナリ其他自家用料ニ供スルモノ亦以
 カラス

矢間村

西西多田村境字金瀬ヨリ東字下金瀬ニ至ル一丁四十
 間ノ間ハ多田院村ト又同處ヨリ東字「イ」ヲ「ア」ニ至ル
 五十二間ノ間ハ新田村ト又同處ヨリ東字上川原ニ至
 ル五十間ノ間ハ平野村ト又同處ヨリ南字「ツ」ニ至ル
 「キ」ニ至ル九丁五十間ノ間ハ東多田村ト又同處ヨリ南
 瀧山村字大水田ニ至ル三丁十間ノ間ハ大坂ハ豊島郡
 古江村トノ入會漁場ナリ

大物村

本村ハ蛭貝採取ノミヨ以テ業トシ水川未流ニ於テ之
 ヲ營ミ来リ別ニ定マリタル漁場區域ナシ

第二節

仲間加入ノ仕来

第三節

他方ノ漁夫来漁ニ係ル手續

第四節

販賣ノ仕方

捕漁セシ魚類ハ直ニ需用者或ハ地方ノ商人へ又大漁ノ
 時ハ大坂ハ豊島郡池田へ販賣スル「ア」アリテ一定セズ然
 ト氏皆即金ノ取引ナリ其他自家用料ニ供スルモノ亦以
 カラス

第三款 犯則違例ノ處分

上野村 石道村 虫生村

他村ノモノ猥リニ專漁場ニ入り漁業スル片ハ漁場ニ
關スル費額ヲ償ハシムル慣行ナリ

西畦野村

維新前ハ他村ノモノ猥リニ來漁シ或ハ毒物ヲ流ス等
ノ事ヲ為シタル片ハ直ニ其者ヲ捕ル漁具ハ勿論捕獲
ノ魚類ヲ取り上ケ而シテ其羊額ハ發見者ニ附與シタ
リシカ廢藩後ハ其慣行廢絶シ自今ハ警察署ニ告訴ス
ルノ例トナレリ

カナリニ三年目ノモノハ大八九十目小八四五目ノ
量アリ百目以上ノモノハナシ

鱒

七八月頃ニ産ス其年中ニ大八一寸小八五分許ニ長シ
二年目ニ三寸三年目ニ四寸許トナル

鮎

九十月頃河口ニ於テ産卵シ孵化後月餘ニシテ五六分
トナル之レヲ「アゴ」ト云フ翌年上流ニ遡ルニ及ヒ五
六月頃ハ四五寸此量十五及乃八九月頃ハ尺余ニ及ブ
此量凡三之レヲ最モ佳味ノ時トス然レモ普通多キハ
六七寸ノモノトス 西畦野村調

雑魚

七八月頃ニ産ス其年中ニ大八一寸小八五分許ニ長シ

二年目ニ三寸三年目ニ四寸許トナル 鱒 蛤 村 調

捕魚ノ期節左ノ如シ
 第二欸 漁期
 第一項 期節

品名	期節	鮠	鯰	鰻	鱖	鮎	雜魚	蜆
万善村	期節良時季							
北田原村 南田原村 紫合村 柏梨田村 原村	期節良時季	自五月至七月	自五月至七月	自五月至七月	自五月至七月	自五月至七月	自五月至七月	自五月至七月
上野村	期節良時季							
石道村	期節良時季							
西畦野村	期節良時季							
多田院村 西多田村 新野村 平野村 東野村 矢野村	期節良時季	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月
大物村	期節良時季							自三月至八月

兵庫縣

系

第三款 漁場

猪名川ハ水源ヲ水郡柏原村字一ノ谷及杉生村字奥山ニ
 發シ戸ノ内村ニ至テ澱川支流神崎川ニ合ヌ延長十里三
 十一丁ニシテ川幅ハ水源ヨリ下凡五里即多田院村ニ於
 テ四十二間又川口ヨリ上凡一里二十丁即中村ニ於テ
 ハ四百二十五間トス
 抑本川ノ水源ニハ樹木鬱蒼トシテ繁茂シ常ニ十分ノ涵
 養アリ夏日ト雖氏甚シキ涸水ナシ水色ハ渾テ清純ニシ
 テ流勢ハ緩急何レニモ偏セス川底ハ渾テ砂石ナリ
 本川沿村ノ漁業區域ハ左ノ如シ但漁獵ノ重ナルモノハ
 鮎渙ニシテ其盛渙ナル處ハ矢間村凡五里ヨリ下多田院村
 水源ヨリトス
 下凡五里トス
 万善村

鰻雜魚等ハ北木津村境ヨリ南北田原村境迄、間ニ於テス

北田原村

雜魚鰻鯰等ハ北万善村境ヨリ南南田原村境迄、間ニ於テス

南田原村

雜魚鰻等ハ北北田原村境ヨリ南同村ト北野村トノ境迄ノ間ニ於テ渙ス

紫合村

雜魚鰻鯰等ハ北北田原村及北野村トノ境ヨリ南拍梨田村境迄ノ間ニ於テ渙ス

拍梨田村

雜魚鰻鯰等ハ北南田原村境ヨリ南原村境迄ノ間ニ於テ渙ス

原村

雜魚鰻等ハ北拍梨田村境ヨリ本村字岩釜ニ至ルノ間又本村字瀧ヶ本ヨリ字岩釜ノ間ニ於テ渙ス

上野村

鮎等ハ北本村字北畑ヨリ南石道村境字牛丸山迄ノ間ニ於テ渙ス

石道村

鮎等ハ東上野村境ヨリ虫生村境迄ノ間ニ於テ渙ス

虫生村

鮎等ハ北石道村境ヨリ當村字天狗ニ至ルノ間ニ於テ渙ス

西畦野村

多田院村 鮎等ハ北石道村境ヨリ南虫生村境迄ノ間ニ於テ渙ス

鮎雜魚等ハ北虫生村境ヨリ東新田村境迄ノ間ニ於テ渙ス

西多田村

鮎雜魚等ハ西多田院村境ヨリ東字「ロウテン」迄ノ間ニ於テ渙ス

新田村

鮎雜魚等ハ西多田院村境ヨリ東ハ平野村境迄ノ間ニ於テ渙ス

平野村

鮎雜魚等ハ西新田村境ヨリ東南東多田村境迄ノ間ニ於テ渙ス

東多田村

鮎雜魚等ハ北平野村境ヨリ南大坂府下豊島郡古江村境迄ノ間ニ於テ渙ス

矢間村

鮎雜魚等ハ西北西多田村境ヨリ南瀧山村字大木田迄ノ間ニ於テ渙ス

大物村

蛤貝採取ハ水川末流ニ於テ之レヲ嘗ミシ慣行ニシテ定リタル區域ナシ

第四款 入會漁船ノ數

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數 左ノ如シ

漁具名	鯉釣本數	鯉釣本數	鯉釣本數	鯉釣本數	鯉釣本數	鯉釣本數	鯉釣本數
村万善				三			
原北田	三					四	
原南田							
村紫合	三			一		五	
田柏梨	五			一		四	
村原	九					三	
村上野			三	三		七	
村后道			四	四		六	
村虫生	一		三	三			
野西畦		三	三	三			
院多田	八	八	九	六			
村西多	四	二	二	二			
村新田	一	一	一	一			
村平野	二	二	二	二			
田東多	一	一	一	一			
村別所					三		
村大物	三						
合計	二二	二六	二七	二六	三	三九	

第二項 漁船

漁船現數九ノ如シ

二間漁船 二十一艘

大物村

第六款 漁法

鯰魚

又手網 雨降河水増加シ急流トナリタルハ必ス河
岸ニ寄ルモノナリ即チ岸邊ニ於テ該網ヲ取リ之ヲ
扱ヒ捕フモノトス 北田原村調

鰻魚

釣 細竹ノ一端ニ針ヲ附シ蚯蚓ヲ餌料トナシ水中石
垣等ニ潜居スルモノヲ漁ス「珠數」ト稱シ蚯蚓ヲ七
八尺ノ糸ニ貫キ恰モ珠數ノ如クナシ之ヲ長ニ寸許
ニ束子細竹ノ一端ニ結付ケ以テ之ヲ釣ルアリ專ラ
夜間ノ漁業ナリ 別所村調

鱒魚

打網 雜魚漁ニ全シ

鮎魚

裾網

漚張網ニ云フ 六七月ニ至レハ川ノ深處ヨリ淺處ニ

移リ居ル處ヲ遮キリ之ヲ圍ミ周章シテ深處ニ歸ラ

ントシテ該圍中ニ入りタル處へ打網ヲ以テ捕獲ス

ルモノトス 石道ヨリ調

打網

前項記載ノ如シ

掛釣

揖西郡ニ全シ

雜魚漁

叉手網

鯨渙ニ全シ

打網

大水ノ後三四日目頃濁水尚澄マサルキ餌料赤

土ト米糠トヲ混シ團子トナシ河底平坦ノ場所ヲ擇

ヒ之ヲ投シ置クキハ魚必ス群来スルモノナリ斯ク

テ一時間程ヲ經過シ此處ニ網ヲ打テ以テ捕獲ス

蜆漁

カワテ網

鹹水渙業ノ部ニ全シ

第七款 有害漁法

水産ノ蕃殖ヲ妨害スルモノハ第一毒物劇薬ヲ投シテ漁
 スルト是ナリ談法ヲ以テ漁業ヲ営ムモノアルハ見認
 次第直ニ警察署ニ告訴スルトトナセリ然ルニ近年三至
 リ談漁者ハ一層狡獪ナル手段ヲ以テ他人ノ告訴ニ先キ自
 ラ罰金ヲ携テ自首ス蓋シ捕獲ノ収利ハ罰金ヨリ幾倍多
 額ナルヲ以テナリ今其一例ヲ掲シ談漁者數名申合セ
 上流恰好ノ處ニ於テ夜十二時頃毒ヲ流シ置クハ翌日
 午前三四時頃ヨリ中毒シテ大抵ノ魚ハ水上ニ浮ビ出ツ
 漁者之レヲ拾ヒ取り六時頃ニ至リ漸ク路人ヲ通行スル
 ヲ見テ仲間ノ一人ハ其魚少許ヲ携ヘテ警察署ニ自首シ
 一人ハ拾ヒ取りタルモノヲ荷造ノ上先ツ逃走シテ其跡
 ヲ晦シ其餘ノ仲間ハ局外者ノ姿ヲナシテ尚其殘魚ヲ拾

と取ル若シ之レヲ發見シ推詰スルハ彼ト答テ曰フ兩
 三名ノ渙者今我等ノ前ヲ通行シテ去リタリ惟フニ彼レ
 コソ投毒者ニシテ既ニ遁逃セシモノナラシト再三詰問
 スルモ其實ヲ吐カス即チ相伴フテ警察署ニ至リ之レヲ
 訴フレハ既ニ違例者ハ自首シ相當ノ處分ヲ受テ去リ
 タリト茲ニ於テ原告ハ被告ノ其仲間ナルヲ十分判然
 セシモ証跡ナキヲ以テ告訴ノ勞モ遂ニ其功ナク却テ疎
 忽ノ罪ヲ謝セサルヲ得サル場合トナリシヲ以テ其他尚
 種々ノ策ヲ以テ捕魚スルモノアリ西畦野村全調査ニ
 本川ノ鮎ハ猪名川ノ鮎トテ從來ノ名産ナリ然レニ近時
 ハ下流池田村大坂ヨリ素津村本郡邊ニ於テ鮎魚二三寸ニ
 成長シテ遡上スルニ際シ川中ニ柵ヲ裝置シテ之レヲ横
 遮捕獲スルモノアリ故ニ其上流ニ上ルモノハ僅ニ洪水

際其柵ヲ越テ上リタルモノニ過キス此ヲ以テ其収獲
 頗ル減シ概子従前ノ半ニ上ラス○沿川渙期假令ハ甲村
 ハ五月中旬乙村ハ全下旬ナルカ如ク一定セス又渙具ノ
 如キモ種々ノモノヲ使用スルノ習ナリ此ヲ以テ十ノ八
 九ハ魚其成長ヲ遂ケスシテ捕獲セラル、有様ナリ

兵庫縣

第二章 蕃殖

第一款 生産期節

第二款 生産場

鱒及雜魚ハ七八月頃緩流ナル淺處ノ小石ニ産卵ス

ニ村ヨリ調査

系

兵
庫
興

第三款 有害物

冬期ハ獺或ハ鼬夏期ハ魚狗来リテ魚類ヲ害スルアリ
 万善村調 ○本郡ニハ鑛山アリテ其堀採ノ為ノ鑛毒流レ
 甚シキ所ハ下流十四五丁迄ニ及ヒ魚類ヲ害スルアリ
 西畦野村調

兵
庫
興

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

本川漁業ハ概子農間ノ餘業ニシテ著シキ盛衰ナシ尚左
表ヲ掲ケテ現状ヲ示スヘシ

漁業概表

種別	建網類 數疊	扱網類 數疊	手釣類 數本	漁船 數艘	漁民 數人
万善村		三			三
北原村			二		二
南原村		四			七
紫倉村			二		三
粕藪村		一	五		三
原村		一	五		一五
上野村		三	九		九
石道村	三	七			四
虫津村	四	六			五
霞村	三	三	一〇		三
多良村	三	三	三		三
要得村	九	六	六		六
敦村	二	二	六		二
平野村	一	一	二		一
栗村	二	二	四		二
栗村	一	一	二		一
別所村			三		三
大將		二		三	三
合計	二八	二六	一三六	三一	一三〇

漁業者、種別左、如シ
 第四款 営業種別

種別	鯉雜魚手網漁者	鰻釣漁者	鮎鮎雜魚打網者	鮎裾網漁者	鮎掛釣漁者	雜魚釣漁者	規方ツテ網漁者
村万善			三				
原北田	四					三	
原南田							
村紫合	五		一			七	
田柏梨	四		一			一五	
村原	三					九	
村上野	四		三	三			
村石道	五		四	四			
村虫生	三		三	三			
野西畦			三	三	三		
院多田			六	六	六	六	
田西多			二	二	二	二	
村新田			一	一	一	一	
村平野			二	二	二	二	
田東多			一	一	一	一	
村別所							三
村大物							二
合計	三五	三	三一	二五	一五	八二	二二

兵庫縣

兵庫縣

新
庫
興

阿古谷川

第一章 漁制

第一款 捉類

第一項 保護ニ関スル事

第二項 漁税ニ関スル事

上阿古谷村 下阿古谷村

明治八年ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ年々金五錢ヲ
納メタリ

紫合村

漁税ノ下ハ猪名川ノ部ニ掲載ス

系

兵部

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ関スル事

第二項 漁業ニ関スル事

第一節 漁 權

上阿古谷村

北本村字所谷ヨリ南字町田ニ至ル二十三丁ノ間ハ本村專漁場トス

下阿古谷村

北上阿古谷村境字町田ヨリ南本村字西ノ向ニ至ル十五丁ノ間ハ本村專漁場トス

紫合村

北下阿古谷村境字西ノ向ヨリ南拍梨田村字志防ニ至ル十三丁ノ間ハ本村ノ專漁場トス

舟庫興

第二節 仲間加入ノ仕来

第三節 他方ノ漁夫来漁ニ係ル手續

第四節 販賣ノ仕方

捕漁セシ魚類ハ概子自家用トス但シ鰻ハ直ニ需用者ニ販賣ス

舟庫興

第一致 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品名左ノ如シ

鯰ナギ

鰻ウナギ

鱒マス

雑魚サカナ

舟庫興

第二款 漁期

第一項 節期

捕魚ノ期節左ノ如シ

品名	鯰	鰻	鱖	雜魚
期節	自十月一	自十月一	自十月一	自十月一
良時	七八	七八	七八	七八
季	月月	月月	月月	月月

第三款 漁 場

阿古谷川ハ源ヲ本郡上阿古谷村字三草山ニ發シ柏梨田
村字志防ニ至リテ幹流猪名川ニ注ク延長一里ナリ水源
ニハ樹木少ナシ故ニ水量充分ナラス夏日ニ至レハ涸乾
スルナリ水色ハ清ク流勢ハ緩急相半セリ
本川沿村ノ漁場區域ハ左ノ如シ

上阿古谷村

鰻雜魚等ハ北本村字所谷ヨリ南字町田迄ノ間ニ於テ
漁ス

下阿古谷村

雜魚鰻等ハ北上阿古谷村字町田ヨリ南本村字西ノ向
迄ノ間ニ於テ漁ス

紫合村

雜魚鰻鯰等ハ北下阿古谷村字西、向ヨリ南拍梨田村
字志防迄、間ニ於テ漢ス

第四款 入會漁船ノ數

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

雜魚打網數	雜魚叉手網數	雜魚釣數	漁具名
一	二	一〇	上阿古谷村
一	六	七	下阿古谷村
二	一五	二七	紫合村
四	二三	四四	合ニ計

舟
庫
具

第六款 漁法

本川漁法等ハ總テ猪名川ニ全シ

第三章 蕃殖

第一款 生産期節

第二款 生産場

鱒及雜魚ハ七八月頃流勢緩ニシテ水底ニ小石アル淺處ニ産卵ス
查察合村調

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

漁業ハ農業ノ傍ニ營ムモノナルモ年一年ヨリ盛ナル方
ナリ尚左表ヲ掲ケテ現状ヲ示スヘシ

漁業概表

種別	批網類數	掩網類數	手釣類數	漁民數人
上阿古谷村	二	一	一〇	一〇
下阿古谷村	六	一	七	七
紫合村	一五	二	二七	二三
合計	二三	四	四四	四〇

漁業者ノ種別左ノ如シ
第二款 營業種別

種別	上阿古谷村	下阿古谷村	紫合村	合計
雜魚打網漁者	一	一	一	三
雜魚手網漁者	二	六	一五	二三
雜魚釣漁者	一〇	七	二三	四〇

一庫川 一名猪名川

第一章 漁制

第一款 捉類

第一項 保護ニ関スル事

國崎村 一庫村 山原村 山下町 笹部村 東畦野村

西畦野村

渙法 維新前ハ劇劑其他毒藥ヲ以テ渙獵スルヲ禁

セリ

第二項 漁税ニ関スル事

民田村

明治八年ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ本村共議費ノ内ヨリ年々金十五錢宛ヲ納メタリ

原村

國崎村

漁税ノ一ハ猪名川ノ部ニ掲載ス
 明和年ノ頃鮎運上トシテ年々銀八匁五分ヲ代官所ニ
 納メ五ヶ年ヲ一期トシ毎期一匁或ハ五分ヲ増シ天保
 年間高槻藩ノ預リ所トナリ其期ヲ七ヶ年ト改メ年々
 九匁七分ヲ納メ明治元年ニ至リ永百六十五文ト改正
 マリ廢藩後鮎漁税トシテ十六錢五厘ヲ納メ全八年漁
 業者三名出願ノ上漁業鑑札ヲ受ケ一名一ヶ年税金二
 十五錢宛ヲ納メシカ全十年ニ至リ止業セシヲ以テ更
 ニ村方ヨリ川面ヲ拜借シ其料トシテ年々金二圓五十
 錢ヲ納メ全十六年ニ至リ借用料ヲ漁業税ト改メタリ
 一庫村
 明和年ノ頃鮎運上トシテ年々銀六匁ヲ代官所へ納メ

山原村

シカ明治元年ニ至リ永百十文トナリ廢藩後鮎漁税ト
 シテ金十一錢ヲ納メ全八年ニ至リ漁業者八名出願ノ
 上漁業鑑札ヲ受ケ一名一ヶ年税金二十五錢宛ヲ納メ
 全十年ニ至リ止業セシヲ以テ更ニ村方ヨリ川面ヲ借
 用シ其料トシテ一ヶ年金六圓ヲ納メ全十六年ニ至リ
 借用料ヲ漁業税ト改メタリ
 山原村
 明和年ノ頃鮎運上トシテ年々二匁八分ヲ代官所へ納
 メ五ヶ年ヲ一期トシ毎期一匁或ハ五分ヲ増シ文化年
 ニ至リ三匁四分トナレリ其後高槻藩ノ預リ所トナル
 明治元年ニ至リ改メテ永七十一文七分ヲ納メ廢藩後
 鮎漁税トシテ七錢五厘ヲ納メ全八年ニ至リ漁業者二
 名出願ノ上漁業鑑札ヲ受ケ一名一ヶ年税金二十五錢

宛ヲ納メシカ全十年ニ至リ止業セシヲ以テ更ニ村方ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ一ヶ年金一圓ヲ納メ全十六年ニ至リ借用料ヲ漁業税ト改メリ

山下町

明治八年ヨリ漁業鑑札ヲ受ケ一各一ヶ年税金二十五錢宛ヲ納メ全十年ニ至リ本町ヨリ更ニ川面ヲ借用シ其料トシテ一ヶ年金五十錢ヲ納メ全十六年ニ至リ借用料ヲ漁業税ト改メリ

笹部村

文化十一年鮎漁運上トシテ年々銀一匁五分ヲ代官所ニ納メ文政年ニ至リ一匁九分ニ増シ天保年ニ至リ免除セラルル万延年間ニ至リ又運上トシテ銀二匁一分ヲ高槻藩預リ處ニ納メ明治元年ニ至リ永三十六文七分

ト改ム廢藩後鮎漁税トシテ金六錢五厘ヲ納メシカ全八年漁業者一名出願ノ上漁業鑑札ヲ受ケ一ヶ年税金二十五錢ヲ納メ全十年ニ至リ止業セシヲ以テ更ニ本村ヨリ川面ヲ借用シ其料トシテ一ヶ年金十錢ヲ納ム全十六年ニ至リ借用料ヲ漁業税ト改メリ

東畦野村

明和年ノ項鮎運上トシテ年々銀四匁ヲ代官所ニ納メ三ヶ年ヲ一期トシ每期ニ一匁或ハ五分ヲ増シ文化年度ニ至リ四匁五分ニ増加セリ其後高槻藩ノ預リ所トナリ嘉永年間ニ至リ遂ニ五匁七分トナレリ維新廢藩ノ後鮎漁税トシ金十錢ヲ納ム明治八年ニ至リ漁業者二名出願ノ上漁業鑑札ヲ受ケ一各一ヶ年税金二十五錢ヲ納メ全十年止業セシヲ以テ更ニ村方ヨリ川面ヲ

借用シ其料トシテ一ヶ年金七十五錢ヲ納メシカ全十
六年借用料ヲ漁業税ト改メリ

西畦野村

明和年ノ頃鮎運上トシテ年々銀六匁ヲ代官所へ納メ
五ヶ年ヲ一期トシ每期ニ一匁或ハ五分ヲ増シ文化年
ニ至リ其期ヲ三ヶ年ト改メ銀六匁九分ヲ納ム其後高
槻藩ノ預リ所トナリ嘉永年間ニ至リ遂ニ八匁ニ増加
セリ維新廢藩ノ後鮎漁税トシテ金十四錢三厘ヲ納ム
明治八年漁業者出願ノ上漁業鑑札ヲ受ケ一各一ヶ年
金二十五錢ヲ納メ全十年止業セシヲ以テ更ニ村方ヨ
リ川面ヲ借用シ其料トシテ一ヶ年金四圓ヲ納メシカ
全十六年借用料ヲ漁業税ト改メリ

第三項 其他ニ関スル事

國崎村 一庫村 山原村 山下町 笹部村 東畦野村

西畦野村

本村漁場ハ多田神社ノ上流ニアルヲ以テ古昔ハ殺生
ヲ禁制セシカ中古其法弛メルヲ以テ遂ニ出願ノ上鮎
運上ヲ納メテ捕漁ヲ許サレタリ

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ関スル事

國崎村 一庫村 山原村 山下町 笹部村 東畦野村
 西畦野村

漁期 陰曆四月下旬鮎ノ大サニ寸許トナリ下流ヨリ
 遡リ来ル此時四寸許ニ生長スルヲ待テ口明ケト唱
 ヘ捕獲スルノ例ナリ但其期八年ノ模様ニヨリ遅速
 アリト雖氏概子陰曆五月中旬ヨリ九月迄トス
 漁場 文政年間大津代官所ノ支配トナリ夕リシ片申
 合ヲナシ他村ノモノハ一切自村ノ漁場ヘ入漁スル
 一ヲ禁セリ今ニ之ヲ慣行セリ

第二項 漁業ニ関スル事

第一節 漁權

民田村

北大坂府下當國能勢郡下田村ヨリ南本村境字根谷ニ至ル十九丁ノ間本村ノ專澳場トス

原村

北民田村境字根谷ヨリ南一庫村境字川浦ニ至ル十八丁ノ間ハシ内馬場村所屬トスニ本村ノ專澳場トス

國崎村

北民田村境字椈ヶ谷ヨリ南一庫村字出合ニ至ル二十五丁ノ間ハ一庫村ト入會シ又一支流大坂府下能勢郡下田尻村境字落合ヨリ南一庫村字出合ニ至ル一里ノ間ハ本村ノ專澳場ニシテ毎年澳期中村内望ノ者ハ入札ヲ以テ中十月ヨリ賣渡ス内賣却代金ハ收テ村故ニ該澳業ハ落札人ノ自由ニシテ其期限中ハ他ヨリ入澳スルコトヲ許サス

一庫村

北内馬場村ノ内原村所有地字川浦即本村境字越ノ山ヨリ南字出合ニ至ル十七丁ノ間ハ國崎村ト入會又其下流字唐松ヨリ南山原村境字川田ニ至ル十九丁ノ間ハ本村ノ專澳又全所ヨリ南山下町境字下鎌瀨ニ至ルニ丁半ノ間ハ山原村ト入會澳場トス而シテ毎年村内望ノ者ハ入札ヲ以テ澳業ヲ賣却ス其他ノ丁國崎村ニ全シ

山原村

北一庫村境字八岡ヨリ南西畦野村境字子尻ニ至ル十丁二十間ノ間ハ一庫山下笹部東畦野ノ諸村ト入會澳場ナリ而シテ該場澳業ハ村内望ノ者ニ入札ヲ以テ賣

兵庫縣

兵庫縣

却ス其他ノ一國崎村ニ全シ

山下町

北一庫村境字平井ヨリ南笹部村境字下町ニ至ル四丁ノ間ハ山原村トノ入會漁場ナリ毎年町内望ノ者ハ入札ヲ以テ漁業セシム其他ノ一ハ國崎村ニ全シ

笹部村

北山下町境字出合ヨリ南東畦野村境字樋ノ詰ニ至ル二丁ノ間ハ山原村トノ入會漁場トス毎年村内望ノ者ハ入札拂及其他ノ一國崎村ニ全シ

東畦野村

北笹部村境字立川長ヨリ南西畦野村境保止田ニ至ル九丁五十三間ノ間ハ山原西畦野及本村トノ入會漁場ナリ毎年村内望ノ者ハ入札拂及其他ノ一ハ國崎村ニ

全シ

西畦野村

北山原村境字黒瀬ヨリ南東畦野村境字廣渡ニ至ル八丁ノ間ハ東畦野村トノ入會又全處ヨリ下流字出合ニ至ル十一丁十間ノ間ハ本村ノ専漁場トス毎年村内望ノ者ハ入札ヲ以テ賣却及其他ノ一國崎村ニ全シ

第二節

仲間加入ノ仕来

第三節

他方ノ漁夫来漁ニ係ル手續

第四節

販賣ノ仕方

民田村 原村

捕漁セシ魚類ノ内鰻ハ直ニ需用者ニ販賣ス其他ノ魚類ハ大抵自家用ニ供ス

國崎村 一庫村 山原村 山下町 笹部村 東畦野村

東 庫 系

西畦野村

捕漁セシ魚類ハ概子所在ノ地ニ於テ販賣ス若シ大漢
ノ片ハ大坂府下豊島郡池田村ニ販賣ス但皆即金ノ取
引ナリ

第三款 犯則違例ノ處分

國崎村 一庫村 山原村 山下町 笹部村 東畦野村

西畦野村

從來他村ノ者隈リニ來漁シ或ハ毒物ヲ流ス等ノモノ
ヲ發見セシ片ハ直ニ之レヲ捕ヘ漁具ハ勿論捕獲セシ
魚類ヲ取り揚ケ而シテ其半額ハ該發見者ニ付與シ夕
リシカ廢藩後ハ總テ廢止シ目下ハ警察署ニ告訴スル
ノ例トス

第二章 漁撈

第一欸 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品左ノ如シ

鯰サマ

鰻ウナギ

鱒マス

鮎アユ

雜魚サカナ

第二項 大小輕重

鯰鰻鮎鮎雜魚ノ大小輕重ノ幹流措名川ニ全シ

第二款 漁期

第一項 期節

捕魚、期節左ノ如シ

雜魚	鮎	鱒	鰻	鯰	品名	期節	良時季	國崎村 一庫村 山原村 山下町 世部村 東睦野村 西睦野村	
	至自 十五 月月	至自 十五 月月	至自 十五 月月	至自 十五 月月	期節				良時季
	八七 月月	八七 月月	八七 月月	八七 月月	期節				良時季
	至自 十六 月月				期節	良時季			
	至自 八六 月月				期節	良時季			

茅三欵 漁場

一庫川ハ源ヲ大坂府下當國能勢郡宿野村字宿野山ニ發
 シ全郡下田村ヨリ水郡ニ入り南流シテ西畦野村字出谷
 ニ至リ猪名川ニ合ス延長四里十五丁ニシテ川幅ハ水源
 ヨリ下凡ニ里半即國崎村ニ於テハ十三間又流末ヨリ上
 凡十五丁即西畦野村ニ於テハ三十間トス
 水源ハ樹木鬱蒼トシテ上流ニ在テハ十分ノ涵養ヲナス
 故ニ夏日ニ至ルモ甚シキ乾涸ヲ見ズ水色ハ渾テ清ク流
 勢ハ緩急相羊シ水底ハ渾テ砂石トス
 本川沿村漁場區域ハ左ノ如シ但漁獵ノ重ナルモノハ鮎
 漁業ニシテ一庫村上流末一ヨリ西畦野村上流末五丁ノ二村ニ
 在リ

民田村

系

鰻鯨雜魚等ハ大坂府下能勢郡下田村境ヨリ本村字狼谷迄ノ間ニ於テ渙ス

原村

鰻鯨雜魚等ハ民田村境字狼谷ヨリ一庫村境字川浦迄ノ間ニ於テ渙ス

國崎村

鮎ハ北民田村境字椈ヶ谷ヨリ南一庫村字出合迄又一支流大坂府下能勢郡下田尻村境ヨリ右出合迄ノ間ニ於テ渙ス

一庫村

鮎ハ北内馬場村ノ内原村所有地字川浦即本村境字越ノ山ヨリ南山下町境字下鎌瀬迄ノ間ニ於テ渙ス

山原村

鮎ハ北一庫村境字八岡ヨリ南ハ西畦野村境字于尻迄ノ間ニ於テ渙ス

山下町

鮎ハ北一庫村境字平井ヨリ南ハ笹部村境字下町迄ノ間ニ於テ渙ス

笹部村

鮎ハ北山下町境字出合ヨリ南東畦野村境字樋ノ詰迄ノ間ニ於テ渙ス

東畦野村

鮎ハ北笹部村境立川長ヨリ南ハ西畦野村境保止田迄ノ間ニ於テ渙ス

西畦野村

鮎ハ北山原村境字黒瀬ヨリ下流字出合迄ノ間ニ於テ

漁ス

第四款 入會漁船ノ數

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

鰻築アルモ其數詳ナラサルニヨリ畧ス

釣掛釣數本	鮎裾網數疊	鰻釣數本	鰻釣雜魚網數	魚打網數	漁具名
		九	三	二	民田村
		九	三		原村
二	七			四	國崎村
一〇	一四			九	一庫村
	一				山原村
二	一				山下町
一	一				笹部村
五	三			三	東睦野村
三	三			三	西睦野村
三三	三〇	一八	六	二一	合計

系

兵庫縣

第六款 漁法

鯰魚

打網 氷上郡佐治川ニ全シ

叉手網 猪名川ニ全シ

鰻魚

築 氷上郡佐治川ニ全シ

釣 猪名川ニ全シ

鱒魚

打網 猪名川雜魚漁ニ全シ

叉手網 猪名川鯰魚ニ全シ

釣 氷上郡佐治川雜魚釣漁ニ全シ

鮎魚

裾網 打網 猪名川ニ全シ

掛釣 揖西郡ニ全シ

雜魚漁

打網 猪名川ニ全シ

叉手網 全川鯰漁ニ全シ

第七款 有害漁法

有害漁法、下幹流猪名川ニ全シ

第三章 繁殖
第四章 漁民

第一欸 營業ノ景況

本川漁業ハ概テ農間ノ餘業ニシテ著シキ盛衰ナシ尚左
表ヲ掲ケテ現状ヲ示スヘシ

漁業概要表

種別	建網類數	抄網類數	掩網類數	手釣類數	漁民數人
民田村		三	二	九	九
原村		三		九	九
國崎村	七		四	二	六
一庫村	一四		九	一〇	一〇
山原村	一			二	二
山下町	一			二	二
笹部村	一			一	二
東睦野村	三		三	五	五
西睦野村	三		三	三	三
合計	三〇	六	二一	四一	四八

漁業者ノ種別左ノ如シ
第二款 營業種別

種別	鮫網釣漁者	鮫網釣漁者	鮫網釣漁者	鮫網釣漁者	鮫網釣漁者
民田村			九	三	二
原村			九	三	
國崎村	二	六			四
一庫村	一〇	一〇			九
山原村		一			
山下町	二	一			
笹部村	一	一			
東畦野村		三			三
西畦野村	三	三			三
合計	二三	二五	一八	六	二一

神崎川 左門殿川 庄下川

第一章 漁制

第一款 捉類

第一項 保護ニ関スル事

第二項 漁税ニ関スル事

大物村

本村ハ從來蛭漁業ヲナセシモ漁税ヲ納メス唯船税ヲ

納メシノミナリ詳細ハ川邊郡賦水ノ部ニ掲載ス

別所村

本村ハ從來漁業ヲナスモ漁税ヲ納メシナシ

第三項 其他ニ関スル事

舊領主遊漁ノ為メ庄下川筋ニ沿フ處ニ限り捕漁ヲ禁セ

リ

第二款

規約及慣例

第一項

保護ニ関スル事

別所村

漁法 生石灰其他激薬等、有害物ヲ以テ漁スルヲ
禁セリ

第二項

漁業ニ関スル事

第一節

漁權

大物村

神崎川、左門殿川、庄下川、各流末ニ於テ蛸貝採取、慣行
ナリ但其區域ハ一定セス

別所村

神崎川、庄下川、各流末ニ於テ鰕、鰻捕獲スルノ慣行ナ
リ但其區域ハ一定セス

第二節 仲間加入ノ仕来
 第三節 他方ノ漁夫来漁ニ係ル手續
 第四節 販賣ノ仕方

大物村

捕漁セシ蜆ハ適宜近傍ニ販賣ス

別所村

捕漁セシ鰻ハ商人来リテ買ヒ集ムルモノアリ即金ヲ
 以テ賣却ス

第二章 漁撈

第一款 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品名左ノ如シ
 鰻 ウナギ
 蝦 エビ
 蜆 シジミ

第二款 漁期

第一項 期節

捕魚ノ期節左ノ如シ

蛎	鰻	品名	
		期節	大物村
至自		良時季	別所村
八月		期節	
月	周年	良時季	

第三款 漁場

神崎川ハ大坂府下攝津國西成郡江口村ニ於テ澱川ヨリ
 分流シ本郡戸ノ内村ニ入り南流シテ今福村ニ至リ大坂
 府下攝津國西成郡佃村ニ入り傳法川ニ合ス延長凡三里
 ニシテ川幅ハ水源即チ澱川分流ヨリ下凡二里本郡戸ノ
 内村ニ於テ七十間又流末ヨリ上凡十丁即西川村ニ於テ
 百二十間トス水色ハ渾テ清ク流勢ハ概子緩流ニシテ水
 底ハ渾テ細砂トス
 左門澱川ハ本郡今福村ニ於テ澱川支流神崎川ヨリ分流
 ス流末ハ尼ヶ崎町ニ至テ海ニ注ク延長三十四丁ニシテ
 川幅ハ水源即分流ヨリ下凡十四丁尼ヶ崎町字辰巳町ニ
 於テ四十間又流末ヨリ上凡十丁全町字築地町ニ於テ三
 十間トス水色ハ羊濁ニシテ流勢ハ渾テ緩流ニシテ水底

ハ泥土ニ属ス
 庄下川ハ本郡上ノ島村ニ發シ流末ハ尼ヶ崎町ニ至テ左
 門澗川ニ合ス延長一里二十丁ニシテ川幅ハ水源ヨリ凡
 三十丁即東難波村ニテ六間又流末ヨリ上凡十丁即別所
 村ニ於テ二十四間ナリ水色ハ概子羊濁ニシテ流勢ハ概
 子緩流ナリ水底ハ渾テ細砂トス
 各漁業區域ハ左ノ如シ
 大物村

規ハ各川ノ流末各處ニ於テ適宜漁撈ス
 別所村
 蝦鰻ハ神崎川及庄下川ノ流末ニ於テ適宜漁撈ス

第四款 入會漁船ノ數

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

漁具名	別所村	大物村	合	計
鰻雜魚釣數本	三			三
鰻珠數本	三			三
規カッテ網數		二一		二一

第二項 漁船

漁船現數左ノ如シ

二間漁船 二十一艘 大物村

第六款 漁法

鰻漁

釣 猪名川ニ全シ

雑魚漁

釣 氷上郡佐治川ニ全シ

蜆漁

カツテ網 鹹水漁業ノ部ニ全シ

第三章 繁殖

第四章 漁民

第一款 営業ノ景況

本川漁業ハ概子農間ノ餘業ニシテ著シキ盛衰ナシ尚左
表ヲ掲ケテ其現状ヲ示スヘシ

漁業概況

種別	別所村	大物村	合計
抄網類 數量		二一	二一
手釣類 本數	六		六
漁船 艘數		二一	二一
漁民 員人	三	二一	二四

第二款 營業種別

漁業者ノ種別左ノ如シ

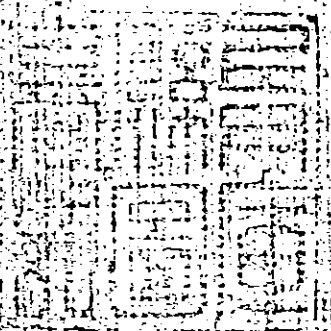
種別	別所村	大物村	合計
鰻雜魚釣漁者	三		三
鰻珠數ゴ漁者		二一	二一
幌カッテ網漁者	三		三

兵庫縣漁業慣行録卷之二終

兵庫縣漁業慣行錄

淡水漁業之部

卷之三



兵庫縣漁業慣行録卷之三 淡水漁業之部

攝津國有馬郡

武庫川

第一章 漁制

第一款 捉類

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ關スル事

第二項 漁業ニ關スル事

第一節 漁權

名塩村

北生野村境字清瀧川ヨリ南生瀬村境ニ至ル一里二十
二丁ノ間ハ當村共有ノ漁場ニシテ他方ノ入漁ヲ禁セ
リ但舊藩時代ニハ村民縦ニ遊漁シ蕃殖ヲ障害スルノ

恐レアルヲ以テ明治三年ヨリ村方ニ五人乃至六人ノ
 組合ヲ設ケ各組望ノ者ハ入札ヲ以テ一ケ年間漁業ヲ
 賣渡シ但賣却代金ハ牧ノテ
 村内祭典費ニ充ツ該場漁業ハ落札人ノ自由
 ニ帰スルトセリ

生瀬村

北名塩村境宇添淵川ヨリ下流東北武庫郡伊子志村境
 宇觀音谷川畧ニ至ルニ十二丁ノ間ハ當村共有ノ漁場
 ニシテ他方ノ者猥リニ入漁スルトテ許サズ該場ニ於
 テ入札漁業ヲ許スト名塩村ニ全シ

第二節

仲間加入ノ仕来

新ニ漁業ヲ管マントスルキハ漁者組合ノ承諾ヲ得ルニ
 アラサレハ之レヲ許サズ但シ加入ノ際新漁者ハ組合ト
 商議ノ上漁場區域ヲ定メ入札者ニ對シ金貨幾分ヲ出シ

又ハ釣竿一本及網一張ニ金若干金額ハ年々ヲ出サシム
 ルノ例ナリ

第三節

他方ノ漁夫兼漁ニ係ル手續

他方ノ漁者本村ノ漁場ハ新ニ入漁セントスルキハ本村
 漁者組合ト商議ノ上一日又ハ一瀬ニ付金何程金額ハ便
 一定ト定メ出金セムルノ例ナリ

第二章

漁撈

第一款 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品名左ノ如シ

鰻

鰯

鯉

鮎

雜魚

第二項

大小輕重

鯉

字化后一ケ年ノ経テ四五寸此量九二年ニシテ一尺此量
百九三年ニシテ一尺四五寸此量百九十二年ニシテ一尺最モ佳
味ノ片ニシテ亦普通ニ多キモノトスヨ名塩村以下調査ニ

鮎

三四月頃ニ二三寸トナル之レヲ飛鮎ト云フ五月頃ヨ
リ掛ケ鮎ト唱ヘ五六寸トナリ八月ヨリハ降り鮎ト稱

シ七八寸ニ至リ其味最モ美ナリ

第二款

漁期

第一項 期節

捕魚ノ期節左ノ如シ

品名	期節	良時季
鯉	周年	一月
鮎	自三月中旬至九月中旬	六月
雜魚	周年	五月

第二項 氣象

鮎漁期ハ例年三月中旬ヨリ九月下旬ニシテ曇天且風ナキ日ヲ宜シトス ○鯉良漁期ハ寒中ニシテ快晴且微風ノ時ヲ宜シトス曇天或ハ風雨ノ烈シキ片ハ総テ良シカラズ ○雜魚ハ驟雨霽レ河水ノ濁リタル片ハ漁獲多シ

第三項 群來ノ前兆

鮎ノ群来スルハ河水暴漲シタル后ニ在リ之レヲ回リ鮎
ト唱ヘ其来ルヲ甚ク多シ

第三款 漁場

武庫川ハ丹波國多紀郡八上々村ニ於テ全郡篠山川ヨリ
分派セシモノナリ之レヲ田松川ト云フ真南條上村ヨリ
發スル山崎川ヲ合シ南流レテ草野村ヲ經テ本郡藍名村
ニ入り三田町ニ至ル之レヲ三田川ト云フ生野村ニ至リ
南塩田川舟坂川及波豆川ヲ容レ生瀬村生野川又生ヲ經
テ武庫郡ニ出テ鳴尾村ニ至リ海ニ入ル延長凡十六里承
流域即上流多紀郡境藍名村ヨリトス川幅ハ水源ヨリ下
武庫郡境生瀬村ニ至ル九里七丁トス
凡八里即本郡加茂村ニ於テ十四間又流末ヨリ上凡一里
即武庫郡上尾林村ニ百五十一間トス
柳本川ハ流程長ク右地ノ諸水ヲ合スルヲ以テ夏日ト雖
モ甚シキ酒渴ナレ水色ハ上流凡四里間ハ半濁ナルモ以
下ハ渾テ清流ナリ流勢ハ水源ヨリ下凡四里余即多紀郡

草野村辺迄ハ緩急相半シ是ヨリ下九五里余即チ本郡塩田村辺迄ハ概ネ緩流ナリ以下ハ漸次急流ニシテ水底ハ細砂ナリ

本川漁業者アル所ハ僅カニ一二ヶ村ニ過キス蓋シ從來魚類ノ産出多カラザルニヨルナリ左ニ該漁業ノ區域ヲ示スベシ

名塩村

鮎及鯉雜魚ハ北生野村境ヨリ南生瀬村境ニ至ルノ間ニ於テ漁ス

生瀬村

鮎及鯉雜魚ハ北名塩村境ヨリ東武庫郡伊子志村境ニ至ルノ間ニ於テ漁ス

第四款 入會漁船ノ數

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

漁具名	名塩村	生瀬村	合計
鯉卷網 數 量	三	一	四
鯉打網 數 量	五	三	八
鯉 罾 數 枚	一		一
鮎玉網 數 量	一	一	二
鮎掛釣 數 本	一	五	六

第六款 漁法

鯉魚

卷網 打網 濶 川岸ノ岩上又ハ高樹ニ攀登リ鯉魚
 ノ群泳スル所ヲ認メ其所ヲ稍隔テ、該網ヲ下シテ
 之ヲ圍ニ漸次淺所へ引寄セテ其範圍ヲ縮メ而レテ
 打網又ハ「ヤ」スヲ以テ捕フ 名塩村調

鮎魚

玉網 三月中旬ヨリ五六月頃迄小滝ノ所ヲ認メ小石
 又ハ柴ニテ水ヲ堰キ稍水量ヲ弱クシ其下ニ玉網ヲ
 平架シ置ク然ルキハ鮎其滝ニ飛ヒ昇ラントシ水勢
 ニ押サレ再ヒ落ツルキ飛レテ其網ニ陥ルヲ捕フ 名塩
 村調

掛鈎 揖西郡ニ全シ

第三章 蕃殖

第一款 生産期節

水族ノ生産スル期節尤ノ如シ
名塩ヨ村調

品名	卵ヲ孕ミタルモノヲ 初メテ捕獲セシ月	卵ヲ孕ミタルモノヲ 最後ニ捕獲セシ月	卵ナキモノヲ 初メテ 捕獲セシ月
鯉	二月中旬		
鮎	七月中旬	九月下旬	
雜魚	二月中旬		

第二款 生産場

雜魚ハ水淺ク流勢激ニタル所ニ産卵シ象化后漸次瀬又ハ淵ニ移リテ生長ス
名ニ塩ヲ村ニ謂

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

名塩村

本村漁業ハ皆農間ノ餘業ナルヲ以テ著レキ盛衰ナレ
 明治元年頃捕獲スルモノ鮎魚ハ九六千尾鯉ハ九七十
 尾雜魚ハ九四萬五千尾ナリシカ今十九年ハ鮎一萬尾
 鯉ハ百五十尾雜魚ハ五萬尾ニシテ從前ニ比レ稍增加
 ノ景況ナリ

生瀬村

本村漁業ノ景況名塩村ニ全レ但捕獲ハ明治元年鮎ハ
 二千尾鯉魚ハ二十五尾雜魚ハ七千五百尾ナリシカ今
 十九年ハ鮎魚ハ四千尾鯉魚ハ五十尾雜魚ハ壹萬五千
 尾ニシテ從前ニ比レ稍增加ノ景況ナリ

以上各地ノ概況ヲ記述セリ尚左表ヲ掲ケテ一般ノ状ヲ示スベシ

漁業概表

種別	名塩村	生瀬村	合計
旋網類 数 量	三	一	四
抄網類 数 量	一〇	一	一一
掩網類 数 量	五	三	八
手釣類 数 本	一〇	五	一五
叉釣類 数 杖	一		一
漁民 数 人	一八	五	二三

第二款 管業種別

漁業者ノ種別左ノ如

種別	名塩村	生瀬村	合計
鯉卷網漁者	一〇	五	一五
鯉打網漁者	一〇	三	一五
鯉碁漁者	一		一
鮎玉網漁者	一〇	一	一一
鮎掛釣漁者	一〇	五	一五

兵庫縣漁業慣行録卷之三終

兵庫縣